

## 損益状況<2行合算>

(単位:億円)

	2020年9月期	前中間期比	2019年9月期
経常収益	794	△17	812
コア業務粗利益	609	△4	613
資金利益	529	1	528
役務取引等利益	73	△6	80
特定取引利益	0	0	0
その他業務利益	5	0	4
経費	415	△15	430
コア業務純益	193	10	183
除く投信解約損益	179	9	169
実質業務純益	215	△5	221
与信費用	44	△6	51
株式等損益	18	13	4
経常利益	187	9	177
中間純利益	141	16	124
連結自己資本比率	9.32%	0.03%	9.29%
連結経常収益	879	△27	906
連結経常利益	181	7	174
親会社株主に帰属する中間純利益	130	13	116

### 【用語解説】

- ・コア業務粗利益・・・一般の企業で言う「売上総利益」に相当する概念で、銀行の本業におけるおおもとの利益、銀行が創造する価値の源泉です。
- ・資金利益・・・貸出金、預金、有価証券等の利息収支等。
- ・役務取引等利益・・・為替取引、投資信託や保険の取扱手数料、各種コンサルティングサービスの手数料等。
- ・コア業務純益・・・一般の企業で言う「営業利益」に相当し、銀行の本業の成果を示したもので、銀行特有の指標です。

コア業務粗利益は、役務取引等利益が前中間期を6億円下回ったことを主因として、前中間期比4億円減少の609億円となりました。

コア業務純益は、経費が前中間期を15億円下回る415億円となったことから、前中間期比10億円増加の193億円となりました。

経常利益は、コア業務純益の増加を主因として、前中間期比9億円増加の187億円となりました。中間純利益は、前中間期比16億円増加の141億円となりました。

連結自己資本比率は、9.32%となりました。

連結経常収益は前中間期比27億円減少の879億円、連結経常利益は前中間期比7億円増加の181億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比13億円増加の130億円となりました。

配当金につきましては、普通株式は期末一括にて1株当たり35.0円を予定しております。優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

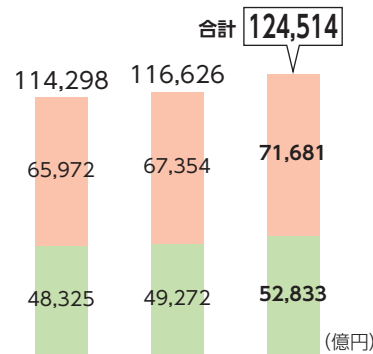
## 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行  
北海道銀行

### 預金(含む譲渡性預金)

12兆4,514億円

個人預金および法人預金の増加により、前中間期末比1兆216億円増加しました。



2019年9月末 2020年3月末 2020年9月末

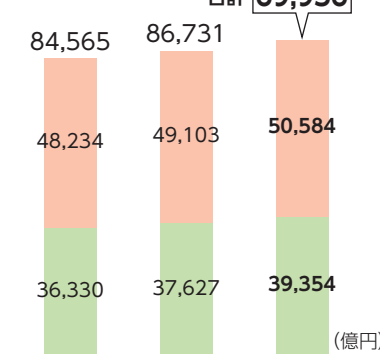
## 貸出金<2行合算>

北陸銀行  
北海道銀行

### 貸出金

8兆9,938億円

事業性貸出および個人ローンが増加し、前中間期末比5,373億円増加しました。



2019年9月末 2020年3月末 2020年9月末

## 自己資本比率<連結>

自己資本  
自己資本比率

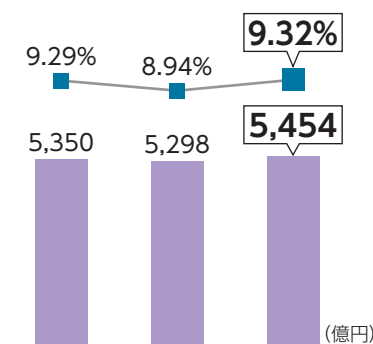
### 自己資本

5,454億円

### 自己資本比率

9.32%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、2020年3月末比0.38ポイント上昇しました。



2019年9月末 2020年3月末 2020年9月末

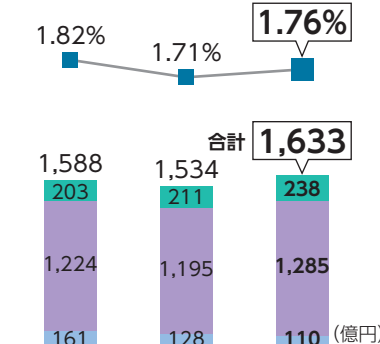
## 金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権  
危険債権  
破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
開示債権比率

### 金融再生法開示債権

1,633億円

2020年3月末比98億円増加しました。



2019年9月末 2020年3月末 2020年9月末

### 開示債権比率

1.76%

2020年3月末比0.05ポイント上昇しました。

## 損益状況

(単位:億円)

	2020年9月期	前中間期比	2019年9月期
経常収益	429	△17	447
コア業務粗利益	329	△4	333
資金利益	277	0	277
役務取引等利益	47	△4	52
特定取引利益	0	0	0
その他業務利益	3	△0	4
経費	221	△9	230
コア業務純益	107	4	102
除く投信解約損益	98	2	95
実質業務純益	125	△2	127
与信費用	33	△8	42
株式等損益	12	8	4
経常利益	106	7	99
中間純利益	84	18	65
自己資本比率	9.00%	0.08%	8.92%
連結経常収益	430	△17	448
連結経常利益	107	7	99
親会社株主に帰属する中間純利益	84	18	66

コア業務粗利益は、役務取引等利益の減少により、前中間期比4億円減少の329億円となりました。

コア業務純益は、経費の減少により、前中間期比4億円増加の107億円となりました。

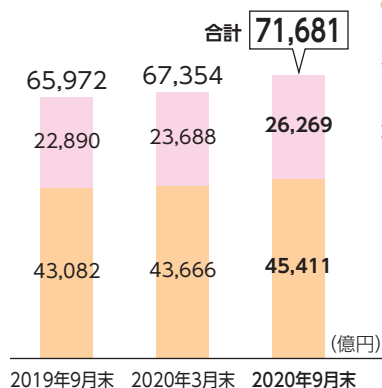
経常利益は、コア業務純益の増加および与信費用の減少により、前中間期比7億円増加の106億円となりました。

中間純利益は、法人税等の減少により前中間期比18億円増加の84億円となりました。

連結経常収益は前中間期比17億円減少の430億円、連結経常利益は前中間期比7億円増加の107億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比18億円増加の84億円となりました。

## 預金(含む譲渡性預金)

法人等  
個人



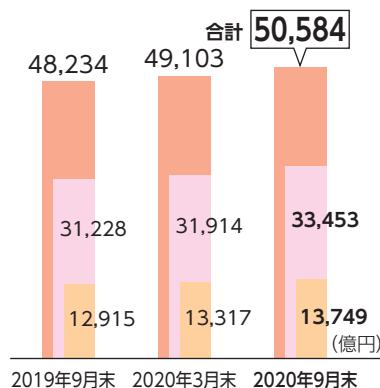
## 預金(含む譲渡性預金)

7兆1,681億円

個人預金および法人預金の増加により、前中間期末比5,708億円増加の7兆1,681億円となりました。

## 貸出金

中小企業等  
個人ローン



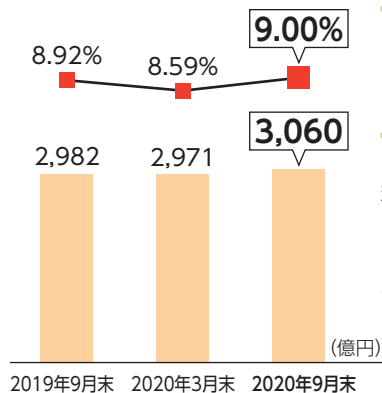
## 貸出金

5兆584億円

事業性貸出および個人ローンが増加し、貸出金は前中間期末比2,349億円増加の5兆584億円となりました。

## 自己資本比率

自己資本  
自己資本比率



## 自己資本

3,060億円

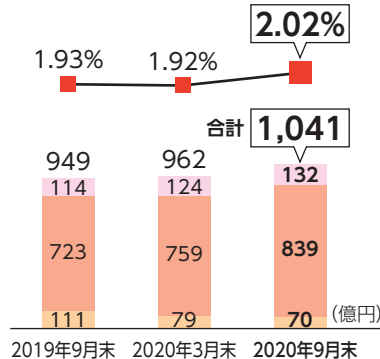
## 自己資本比率

9.00%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、2020年3月末比0.41ポイント上昇しました。

## 金融再生法開示債権

要管理債権  
危険債権  
破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
開示債権比率



## 金融再生法開示債権

1,041億円

2020年3月末比78億円増加しました。

## 開示債権比率

2.02%

2020年3月末比0.10ポイント上昇しました。

## 損益状況

(単位:億円)

	2020年9月期	前中間期比	2019年9月期
経常収益	364	△0	365
コア業務粗利益	280	△0	280
資金利益	252	0	251
役務取引等利益	26	△2	28
その他業務利益	2	1	0
経費	193	△5	199
コア業務純益	86	5	80
除く投信解約損益	81	7	73
実質業務純益	89	△3	93
与信費用	10	2	8
株式等損益	5	4	0
経常利益	80	1	78
中間純利益	57	△1	58
自己資本比率	9.06%	0.08%	8.98%
連結経常収益	365	△5	370
連結経常利益	77	△2	80
親会社株主に帰属する中間純利益	52	△5	58

コア業務粗利益は、役務取引等利益の減少をその他業務利益の増加等で一部カバーし、概ね前中間期同水準の280億円となりました。

コア業務純益は、経費の減少により、前中間期比5億円増加の86億円となりました。

経常利益は、コア業務純益は増加したものの国債等債券損益の減少等により、前中間期比1億円増加の80億円となりました。

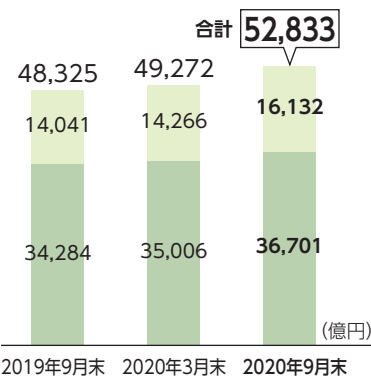
中間純利益は、法人税等の増加により、前中間期比1億円減少の57億円となりました。

連結経常収益は前中間期比5億円減少の365億円、連結経常利益は前中間期比2億円減少の77億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比5億円減少の52億円となりました。

## 預金(含む譲渡性預金)

法人等  
個人

預金(含む譲渡性預金)  
5兆2,833億円

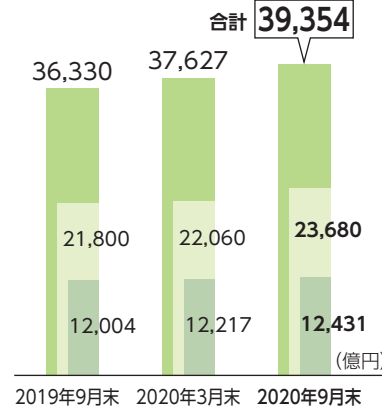


個人預金および法人預金の増加により、前中間期末比4,508億円増加の5兆2,833億円となりました。

## 貸出金

中小企業等  
個人ローン

貸出金  
3兆9,354億円



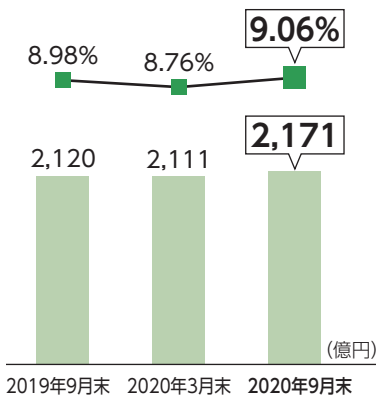
事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出ともに増加し、貸出金は前中間期末比3,023億円増加の3兆9,354億円となりました。

## 自己資本比率

自己資本  
自己資本比率

自己資本  
2,171億円

自己資本比率  
9.06%

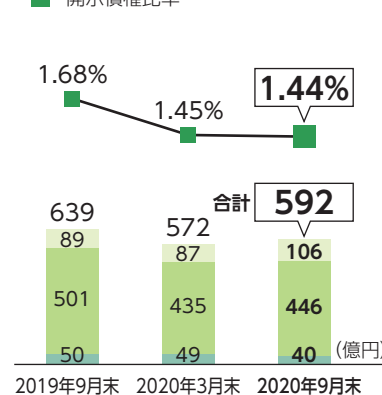


利益による剰余金の積み上げにより自己資本が増加したことなどにより、2020年3月末比0.30ポイント上昇しました。

## 金融再生法開示債権

要管理債権  
危険債権  
破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
開示債権比率

金融再生法開示債権  
592億円



2020年3月末比19億円増加しました。

開示債権比率  
1.44%

2020年3月末比0.01ポイント低下しました。